

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

日本会計コンサルティング株式会社

②事業者情報

名称：	戸田市立上戸田南保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	遠藤 智子	定員(利用人数)：	97 名
所在地：	〒 335-0023 埼玉県戸田市本町5-11-11	TEL	048-444-4080

③評価実施期間

令和4年6月8日（契約日）～令和5年3月28日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

1. 「わくわくデー」への取り組みが、全園児および保護者にも広がり楽しんでいます。

当園は、子どもが自然に注目し自然の美しさや不思議さ、面白さに気づきながら学べるように「わくわくデー」に取り組んでいます。この取り組みは子どもと保育士だけではなく、保護者も巻き込んだものになっています。子どもと保育士がたくさん自然での発見と楽しみを体験しながら、自然の変化や何かを発見する喜びなどを親子で体験できるよう、クイズで楽しんで学びを深めるように行っています。具体的には、自然に関する豆知識に関して親子で一緒に考えていきます。自然の発見もあり新たな知識を習得する楽しい親子の時間になり、親子で「わくわく」する日を作っています。

2. 地域の人から野菜栽培を学び、保護者と共に広がる食育体験と知識を深めています。

畑づくりを熟知している地域の方が指導をしてくれ、子どものみならず職員知識と体験を積み上げています。畑の野菜は子どもとの収穫後に調理員が料理をしてくれています。子どもたちは収穫した野菜の一部を家庭にも持ち帰り、収穫して喜んでいる様子や持ち帰った野菜を子どもと一緒に家庭で料理した様子が掲示されています。また、保護者から「我が家のレシピ」が紹介され、園と家庭とのやり取りも増えつつ、他の家庭へと広がっています。野菜を育てることにより、苦手な野菜も食べられるようになるなど、子どもの変化も見せています。また、今回調査時の保護者アンケートにおいて、当園の食育に関する関心と評価の声が複数ありました。

3. 全体的な計画の見直しによる職員の保育所運営の参画

今回の調査において、市の方針や事業計画等を受け、公立保育所としての実施事項を掲げ取り組みを行っていることを確認してきました。保護者にはもちろんのこと、職員室への掲示や職員会議での読み合わせ等職員への周知も行っています。また、年度末の全体的な計画を見直す際には、全職員に現行の全体的な計画を配布し、見直しが必要な箇所は職員から声が挙がるようにしています。今回の調査時の職員への声においても、事業計画を理解しているとの回答が約9割となっており、職員の事業計画への理解度の高さがうかがえました。加えて、コロナ禍の中で事業計画に基づき数多く取り組み、保育環境を作り出していました。

◇特にコメントを要する点

1. 当園が描く職員のキャリアパスの明示が待たれます。

当園では、市が定めた「第二期戸田市子ども・子育て支援事業計画」に沿って保育の全体計画や行事計画、職員の研修計画などを策定しています。また、人事評価における仕組みとして年数回の面談を設定おり、職員の目標到達の度合いの確認や意欲向上を図っています。市として職員に求める職務遂行能力を定めて水準も定めています。しかし、これらの取り組みのゴール指針ともいえる保育士職員としての望む人材像とキャリアパスの策定に至っていません。キャリアパスの策定と種々の取り組みの連動から、職員個々の育成による保育サービスの質の向上が求められます。

2. 更なるサービスの質の向上のため、保護者の意見徴取から改善に繋げていくことが期待されます。

当園では、より良い保育ができるように保育園としての自己評価を実施しています。自己評価の結果は保護者にも共有できるように、園内に掲示しています。組織的な改善体制を構築するため、行事ごとにアンケートを行い、アンケートの集計結果や次回への改善事項を保護者向けに周知するなど、改善プロセスを整備されてはいかがでしょうか。アンケート結果の周知により、保護者の意見への対応がされているという、園への信頼感向上に繋がります。意見聴取から改善に繋げるの仕組みを整備し、改善プロセスの安定に繋げることが期待されます。

3. 当園から保護者への新たな情報発信方法の検討が待たれます。

コロナ禍において、保育所では保護者に保育の様子が伝わるよう、送迎時の声掛けや園だよりの改善等様々な方法で保護者とコミュニケーションを取り、子どもの普段の様子を伝えています。また、行事や練習風景、また保育園での生活の様子などを動画投稿サイトに掲載して、保育内容の見える化に取り組んでいます。しかし、今回の保護者アンケートに保育活動がもっと見えるようにしてほしいとの意見が複数ありました。当園の状況をより効果的に発信していくため、SNSや保育所向けのインターネットツールを活用するなど、新たな情報発信方法の検討が行われるよう期待します。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

この度、第三者評価受審にあたり、改めて保育園の在り方等掘り下げ考えていく機会をいただいたことで、保育園運営が明確になり、保育内容においても、職員一人ひとりが客観的な視点から考え直すことができました。また、職員間で様々な意見を交わす中で、新たな気づきや共通認識も深められ、振り返りを行う貴重な機会となりました。

保護者アンケートからは、温かなコメントをたくさんいただき、大変うれしく励みになりました。その一方で、今回新たにいただきました意見については、今後丁寧に対応していくと共に、保護者の方々が気づきや要望を伝えやすい体制作りを、更に構築していきたいと思えます。

今回、専門的な視点で客観的に評価いただいた結果を職員全体で共有し、良いところを活かしながら、見えてきた課題を精査改善し、より良い保育園作りに取り組んでいきたいと思えます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり